

## 今月の PICK UP

『危険球』<sup>きすみ ようと</sup>木住 鷹人／著 早川書房 913.6 ｷ



舞台は京都府。この物語は夏の甲子園出場校を決める京都府大会決勝戦の場面から始まります。その大切な試合で思いがけない事態が起こりました。投手の投げた球が打者の頭部を直撃したのです。その時投手はこうつぶやきました。「あんな球、避けられるでしょ。」と。球審はこの事態を高校野球では異例の「危険球」と判断し、投手を退場処分としました。

この一球は、投手や打者はもちろん、チームメイト、マネージャー、そして球審たちのその後を大きく動かすことになります。高校野球の舞台で起きた出来事に関わる人々の想いや、過去、苦悩が、それぞれの立場から描かれています。

司書の  
おすすめ



『音楽隊に「敬礼っ!!」』樋口 孝博／著 音楽之友社 764.6 ｷ

競馬の「日本ダービー」で演奏されるファンファーレや、大相撲本場所の千秋楽で演奏される「君が代」などを聞いたことはありますか。これらを演奏しているのは自衛隊音楽隊です。その歴史は、江戸時代の薩摩藩軍楽隊に始まるとのこと。

自衛官としての訓練を受け、プロの奏者として日々鍛錬を積む自衛隊音楽隊の日常を、元隊長が豊富なエピソードを交えて紹介します。



『歴史が見えるイギリス図鑑』<sup>ありゆき</sup>近藤 存志／著 <sup>あきみ</sup>野田 映美／絵 エクスナレッジ 233 ｺ

建築物という切り口を通して歴史を観察するシリーズのイギリス編。イギリス史に名を遺す偉人ゆかりの建物や、歴史的イベントが起こった建物など、200を超える建築物が紹介されています。伝統を愛する一方で「革新的な試み」を重ねてきたイギリス。その精神が反映された建築たちとともに、イギリスの歴史をたどります。



『人生後半にこそ読みたい秀歌』永田 和宏／著 朝日新聞出版 911.1 ｷ



いまや、日本は超高齢社会となり、昔に比べ人生の後半が長くなりました。本書には、その人生の後半（中年期以降）に経験する、定年と退職、介護、老後などが素材の短歌と、著者によるエッセイが収められています。心配事、悩みなど、誰もいろいろある中で、短歌にふれることで心が少し軽くなったり、そっと背中を押してくれたり、人生後半を楽しく充実したものにする助けになると思います。

『47都道府県だけじゃない日本の分け方』成美堂出版編集部／編 成美堂出版 291 ｷ

本書は、五畿七道といった歴史的背景をもつものから、天気予報や電話番号など生活に関わるもの、自衛隊や果てはコンビニの中華まんまで、都道府県以外の様々な日本の分け方について紹介しています。身の回りのなじみ深いものでも意外と知らないことは多く、ページをめくるたびに新しい発見があります。旅行や帰省でよその地域を訪れることが増えるこの時期、知らなかったあれこれに触れてみませんか。

